事業完了報告書

提出日：２０２３年　３月３１日

１．事業概要

（１）実行団体名：株式会社ＦＥＥＬ
（２）事業名　：　障害児等の体験格差解消事業
（３）事業実施期間：2020 年 6 月～ 2023 年 3 月
（４）資金分配団体名：公益財団法人ブルーシー・アンド・グリーンランド財団

2. 規程類の整備・運用実績

いずれかにチェック☑をつけていただき、項目ごとの設問に回答してください。

（１）事業期間に整備が求められている規程類の整備は完了しましたか。
☑　完了　／　☐　整備中
→上記で「整備中」を選択した場合、整備できていない理由を記載してください。また、事業開始時と比較して、整備状況が改善された点を記載してください。
（２）　整備が完了した規程類を自団体の web サイト上で広く一般公開していますか。
☒　全て公開した　／　☐　一部未公開　／　☐　未公開
→上記で「一部未公開」または「未公開」を選択した場合、その理由と公開予定日を記載してください。
（３）　変更があった規程類に関して JANPIA に報告しましたか。
☐　変更があり報告済　／　☐　変更があったが未報告　／　☑　変更はなかった
→上記で「変更があったが未報告」を選択した場合、その理由を記載してください。

3. ガバナンス・コンプライアンス体制の整備・運用実績

いずれかにチェック☑をつけていただき、項目ごとの設問に回答してください。

（１）　社員総会または評議員会、理事会は、規程類の定めるとおりに開催されていますか。
☑　はい　／　☐　いいえ
→上記で「いいえ」を選択した場合、その理由を記載してください。

（2） 内部通報制度は整備されていますか。
☑ はい ／ ☐ いいえ
→上記で「はい」を選択した場合、設置方法を以下から選んでください。（複数選択可） ☑ 内部に窓口を設置 ／ ☐ 外部に窓口を設置 ／ ☐ JANPIA の窓口を利用
（3） 利益相反防止のための自己申告を定期的に行っていますか。
☑ はい ／ ☐ いいえ
→上記で「いいえ」を選択した場合、その理由を記載してください。
（4） 関連する規程類や資金提供契約の定めるとおりに情報公開を行っていますか。
☑ はい ／ ☐ いいえ
→上記で「いいえ」を選択した場合、その理由を記載してください。
（5） コンプライアンス責任者を設置していましたか。
☑ はい ／ ☐ いいえ
→上記で「いいえ」を選択した場合、その理由を記載してください。
（6） ガバナンス・コンプライアンス体制の整備や強化施策を検討・実施しましたか。
☐ はい ／ ☑ いいえ
→【任意】上記で「はい」を選択した場合、どのような検討・実施をしたか事例を記載してください。
（7） 報告年度の会計監査はどのように実施しましたか。（実施予定の場合を含む）
☐ 外部監査 ／ ☐ 内部監査 ／ ☑ 実施予定もない ※（複数選択可）
→上記で「外部監査」または「内部監査」を選択した場合、その実施者を記載してください。
（8） 本事業に対して、国や地方公共団体からの補助金・助成金等を申請、または受領していますか。
☐ はい ／ ☑ いいえ

4. 広報実績

いずれかにチェック☑をつけていただき、設問に回答してください。

（1）シンボルマークの活用状況	
☐ 自団体のウェブサイトで表示している	☐ 広報制作物に表示している
☐ 報告書に表示している	☑ イベント実施時に表示している
☐ その他 →「その他」を選択した場合は記載してください （自由記述）：	

最終年度の広報実績について記載してください。

広報種類	有無	内容
メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB 等）	有	新聞での記事の掲載、及びラジオでの定期的な情報発信を行った。
広報制作物等	無	
報告書等	無	

5. その他（本助成を通じて組織として強化された事項や新たに認識した課題、今後の対応/あればよいと思う支援や改善を求めたい事項など、自由にご記載ください。）

本助成を通じて、弊社と関係する諸団体との連携が強化し、次年度以降の事業継続が容易になった。日常的なコミュニケーションをとれるようになり、事業前のミーティングや活動中の安全管理など、お互いに意見が出しやすい関係となった。

課題としては、現在関係を強化した団体以外の団体との連携をどこまで拡大できるかという点であり、拡大したことにより、既存の活動団体との事業が減少していかないようにバランスをとっていきたいと考える。

今後は、現在自然体験活動を体験し始めた対象者が、学校や通所施設を卒業した後にその環境がなくなるという課題があり、卒業し働き始めた対象者たちを支援できる制度があれば理想であるし、私たちもできる限りのサポートを続けていきたいと考えている。

添付資料

会場の山口県油谷青少年自然の家での集合写真。7月下旬の海での活動で、この日は3団体からの参加がありました。

初めてSUPに挑戦する参加者。最初はボードに乗るのが怖く、バランスがうまく取れませんでしたが、少しずつ慣れて、一人で乗って漕ぐとことまで成長しました。

海岸でのスイカ割りのシーン。初めて海で遊ぶという参加者もいて、砂浜でスイカ割をする経験が初めてという参加者が大半を占めました。

メガSUPは、漕がなくてもただ友だちと乗っているだけでも楽しめました。乗って寝転ぶこともできるし、メガSUPから別のメガSUPに飛び移るアクティブな参加者もいました。

焚火の活動では、みんなでどのように組めば火が大きくなるかを学び、写真のようにどのように撤収するかも学びました。焚火を作れるだけでなく、安全に活動を終える一連のプロセスを指導しました。焚火では焼き芋をして、美味しい味を堪能しました。

マウンテンバイクの体験では、自由に森を走る楽しさを味わいました。これまで自転車に乗る機会がなかった参加者も少なくなく、自転車に乗る練習をする参加者もいましたが、少し練習すると乗れるようになり、マウンテンバイクを楽しんでいました。中には体験後に購入した参加者もいて、非日常が日常の体験になる参加者もいました。